

<No22：地図編集>

次の文は、地図投影法について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 正距図法は、地球上の距離と地図上の距離を正しく対応させる図法であり、任意の地点間の距離を正しく表示することができる。
2. 正積図法では、球面上の図形の面積比が地図上でも正しく表される。
3. ガウス・クリューゲル図法は、平面直角座標系（平成14年国土交通省告示第9号）で用いられている。
4. 平面直角座標系では、日本全国を19の区域に分けている。
5. ユニバーサル横メルカトル図法は、北緯 84° 以南、南緯 80° 以北の地域に適用され、経度幅 6° ごとの範囲が一つの平面に投影されている。